

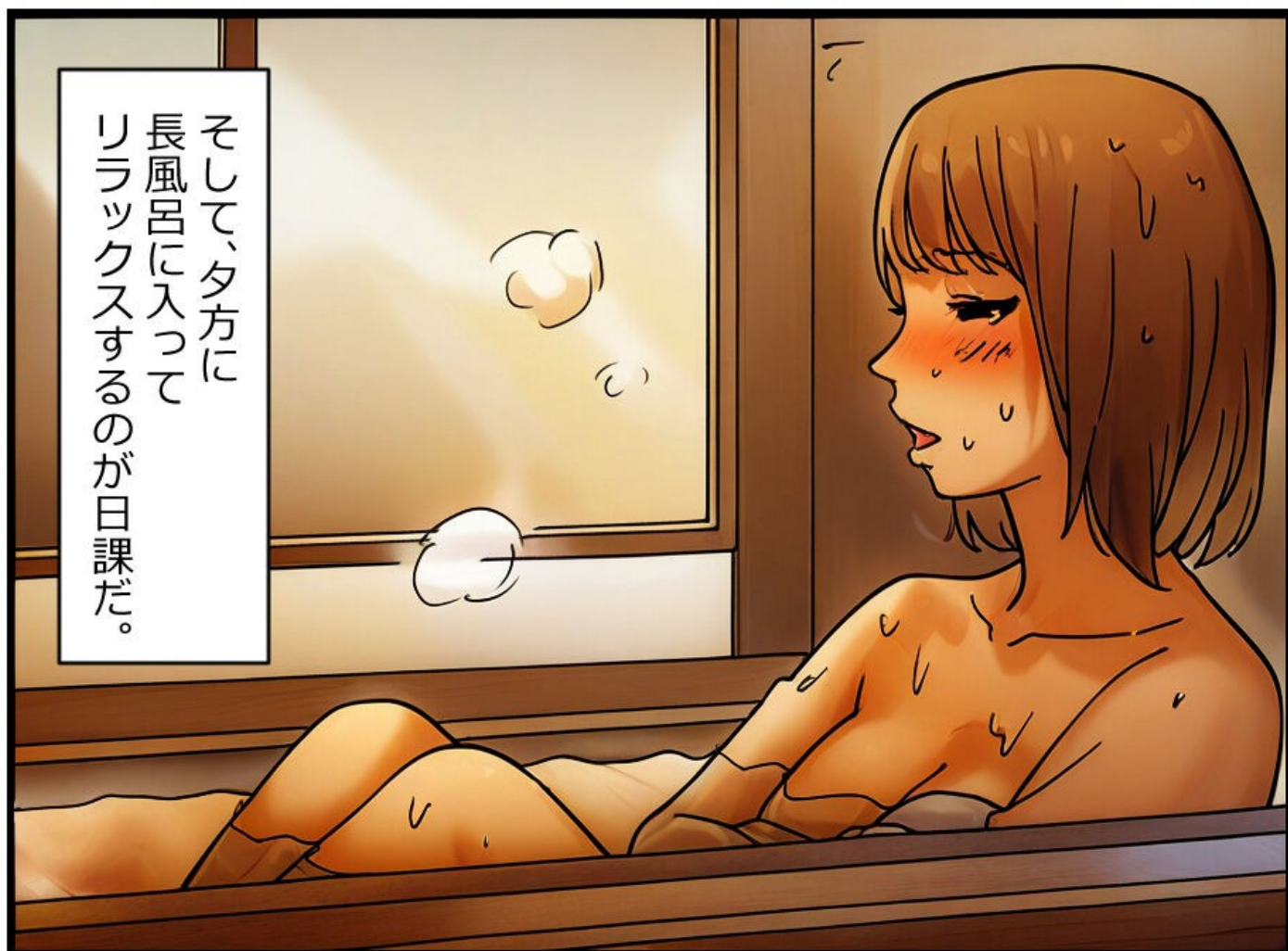
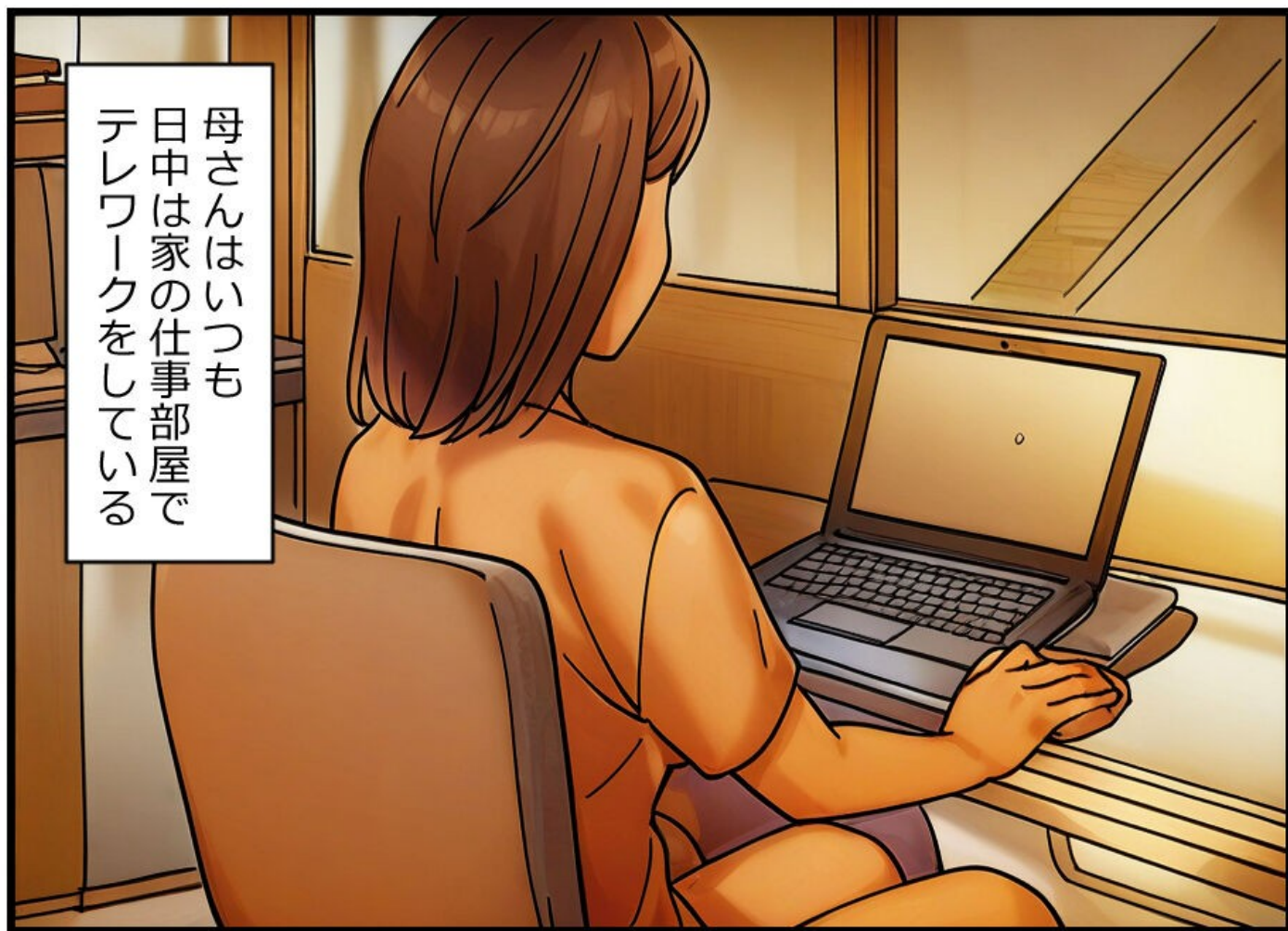


**【近親相姦体験】
母さんへの性欲が止まらない！**

僕の大好きな母さん：
もちろん、母親としてではなく
「女」として。

メスの匂いをいつも漂わせている母さんに
僕はいつも欲情していた。
いつかは絶対抱いてやると思っていた。





そんな長風呂の時間を
僕は毎日楽しみにしていた。

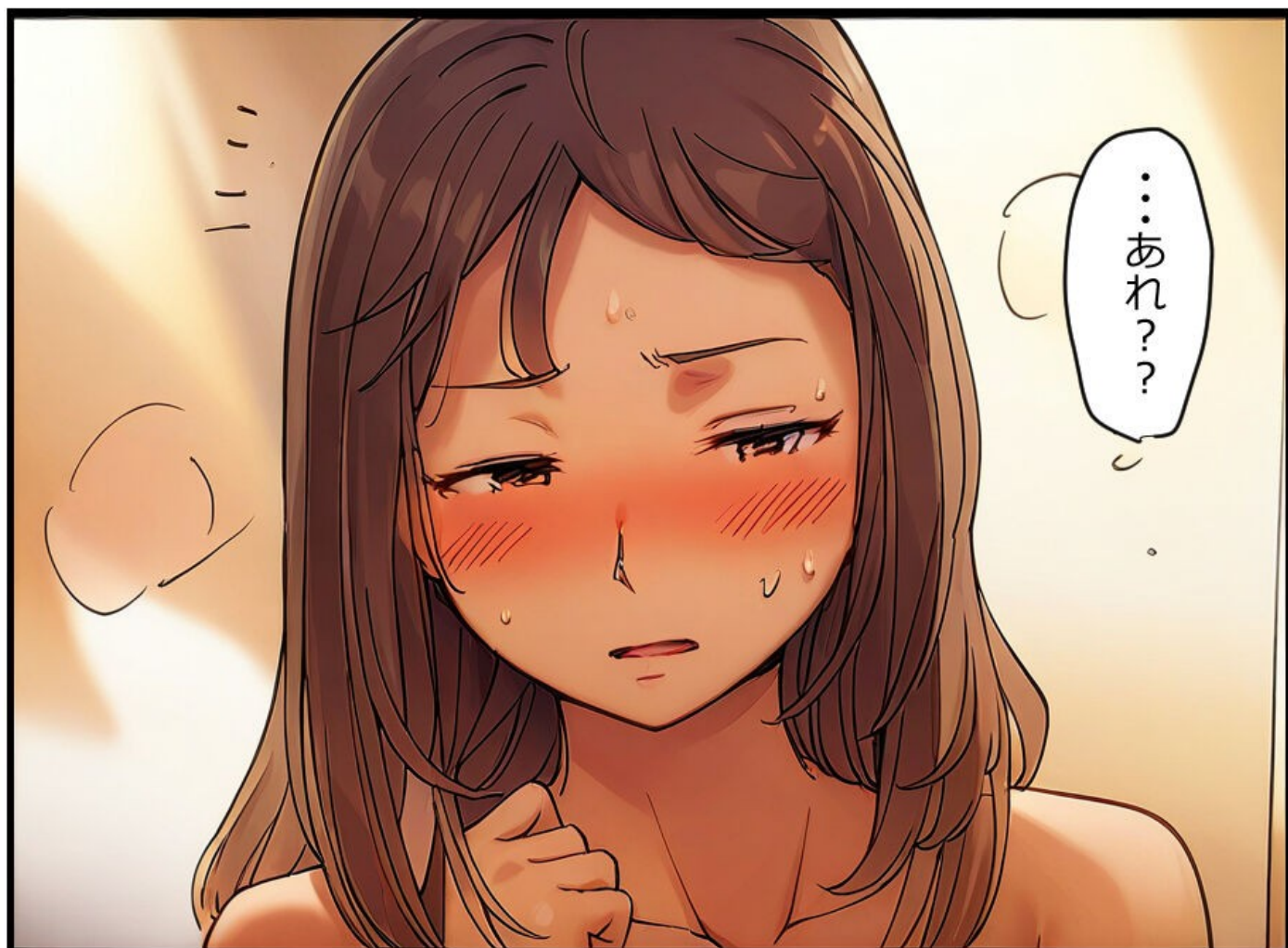
なんていったって、
脱ぎたての母さんのホカホカシヨーツを
堪能できる絶好のチャンスだから。

ハア
ハア

ハア

ガ
タ
ッ

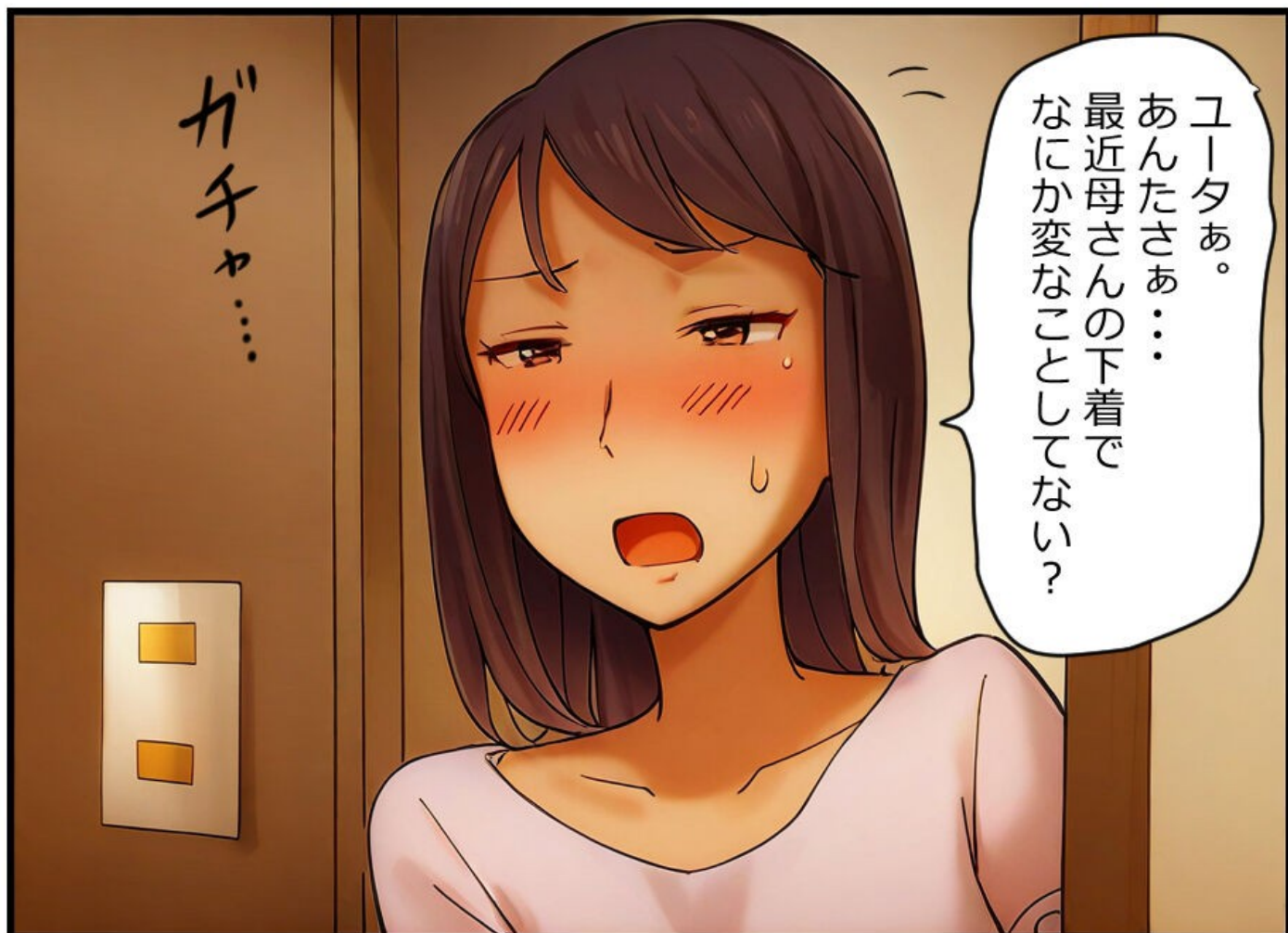
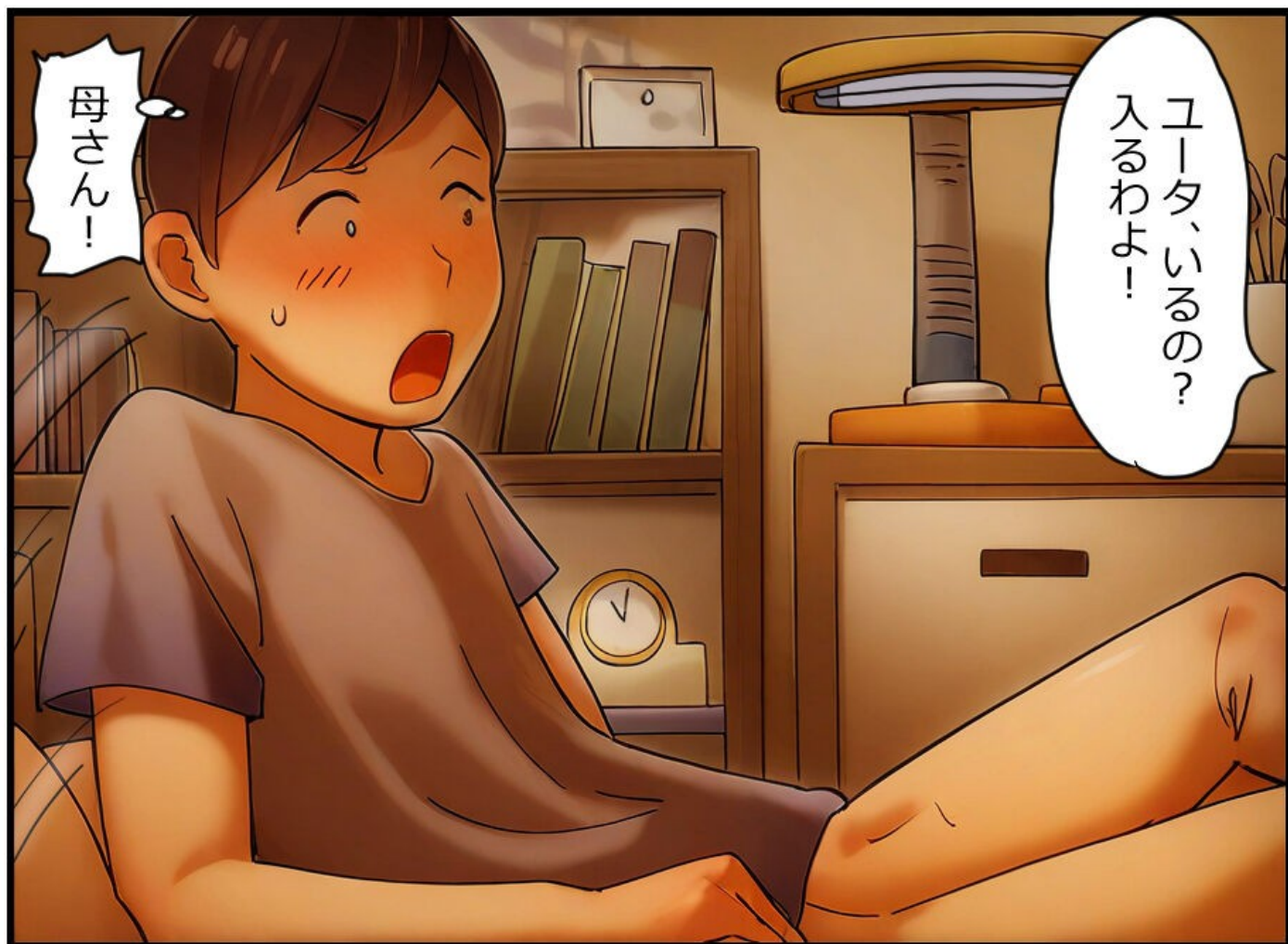
やべっ…

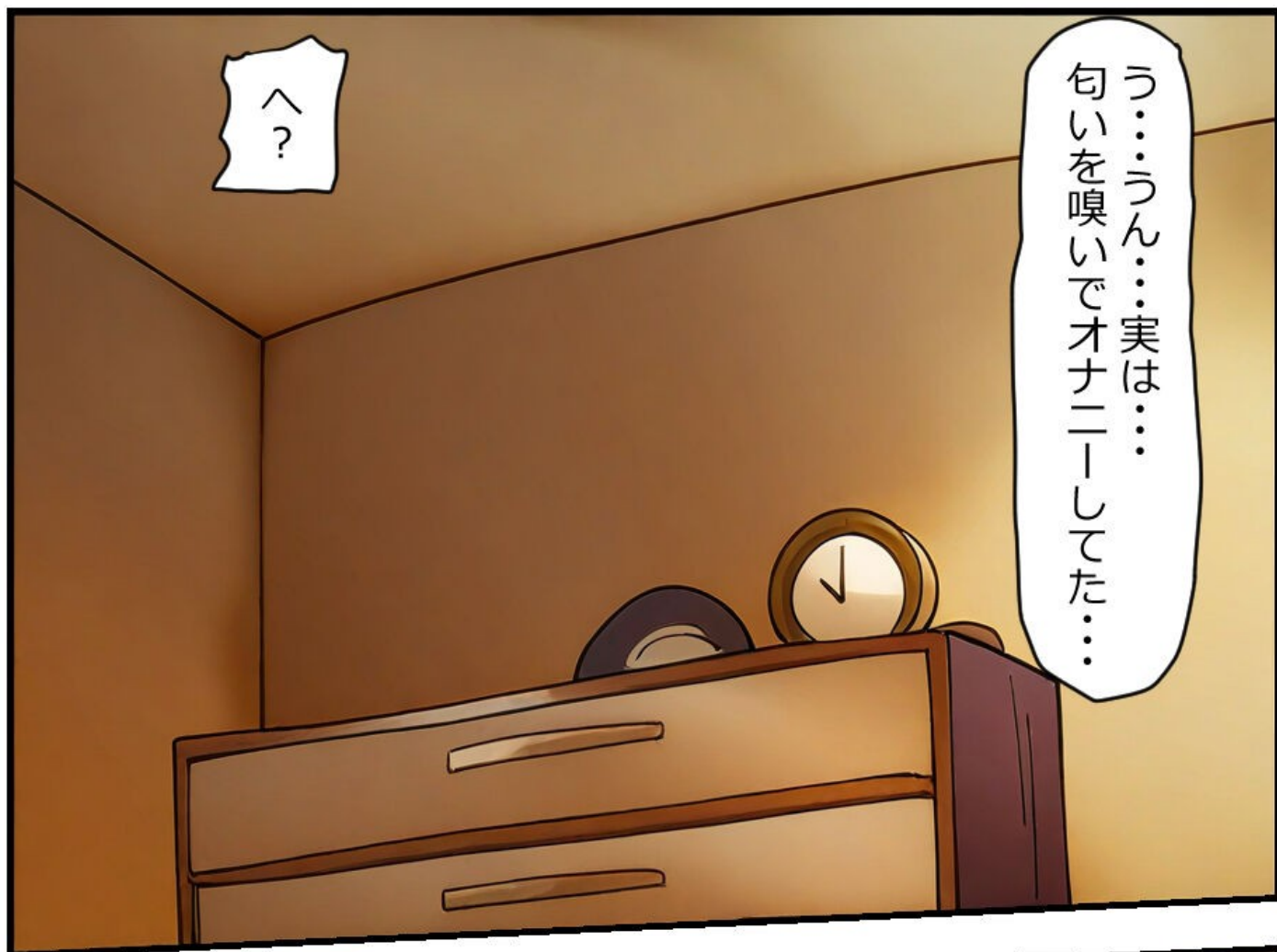


その日の夜…



あーあ。
母さんとセックスしたいなあ…





う…うん…実は…
匂いを嗅いでオナニーしてた…



あんたまさか…

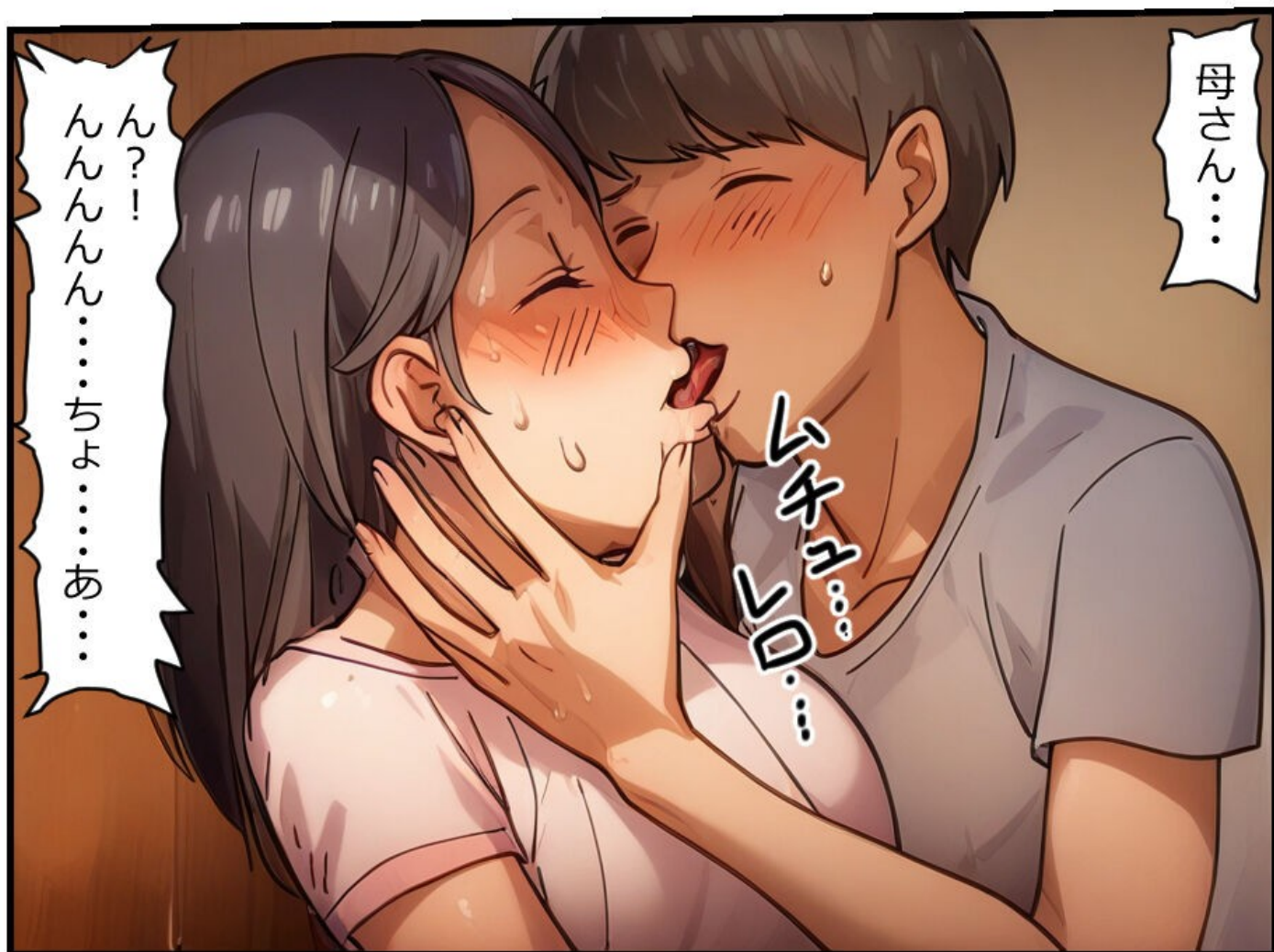
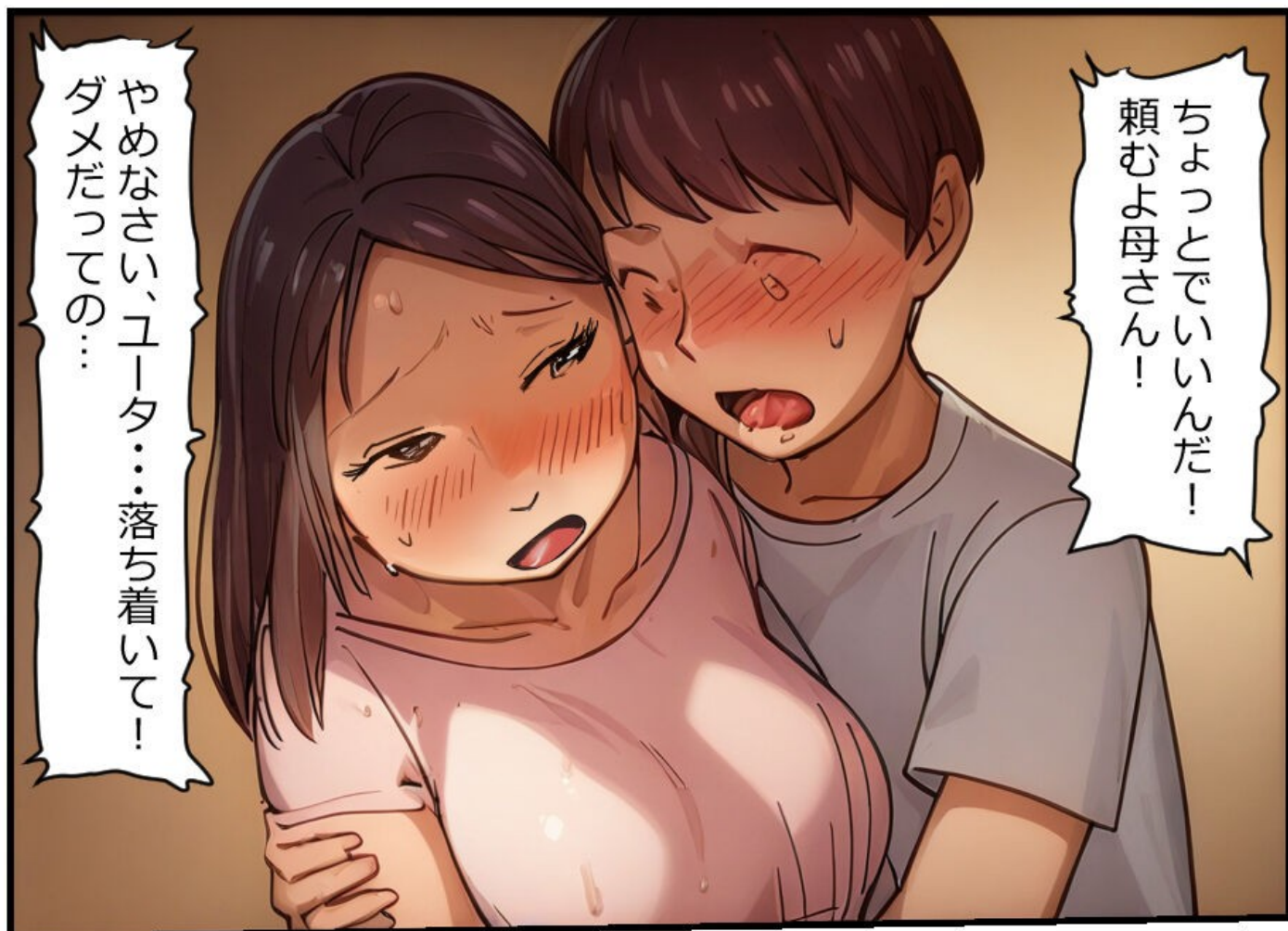
母さんに興味があるの??

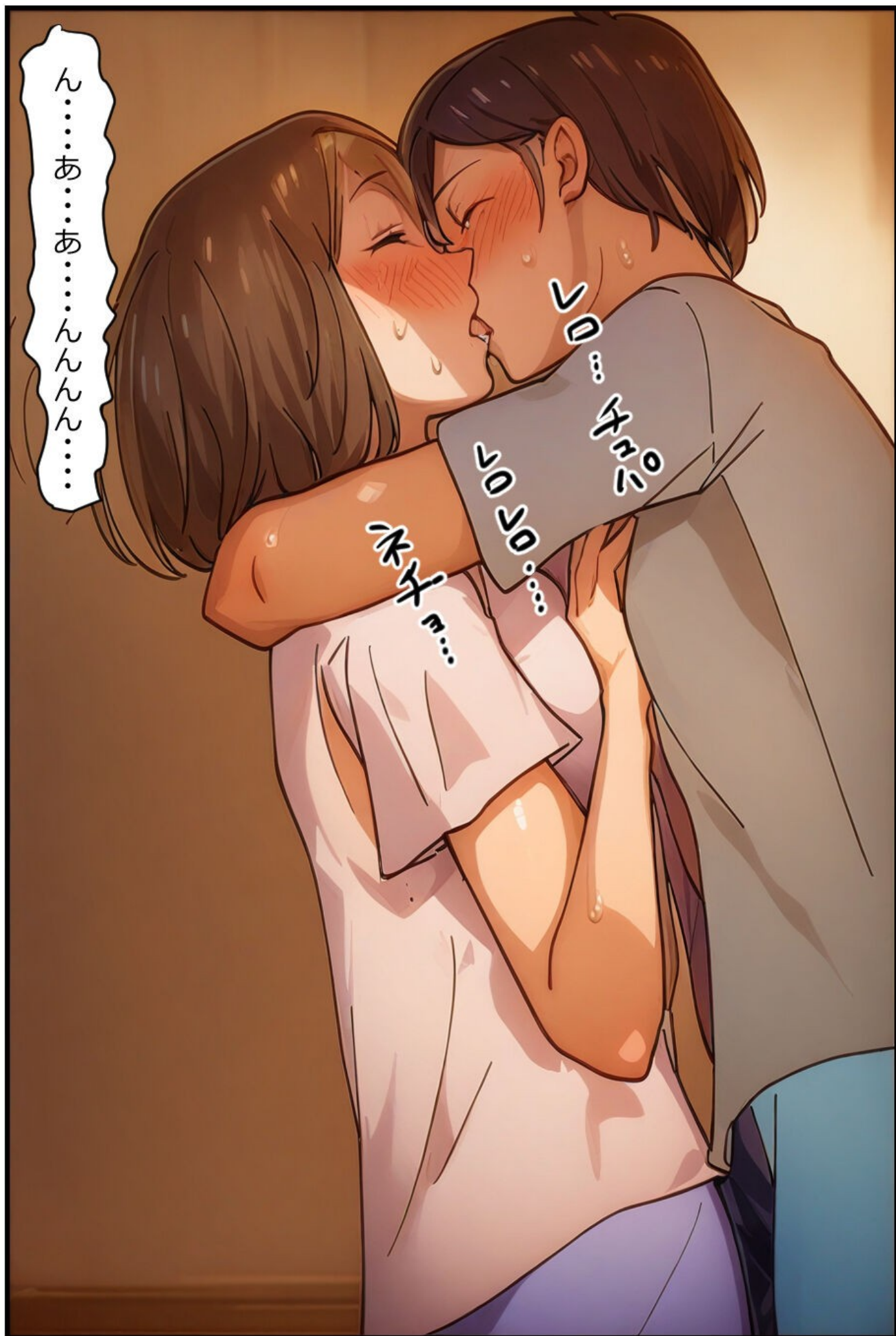
白状すると・・・そうなんだ・・・

できればその・・・セックスとか？
できたらなあって・・・

血の繋がった親子で・・・

そんなことダメに決まってるでしょう？



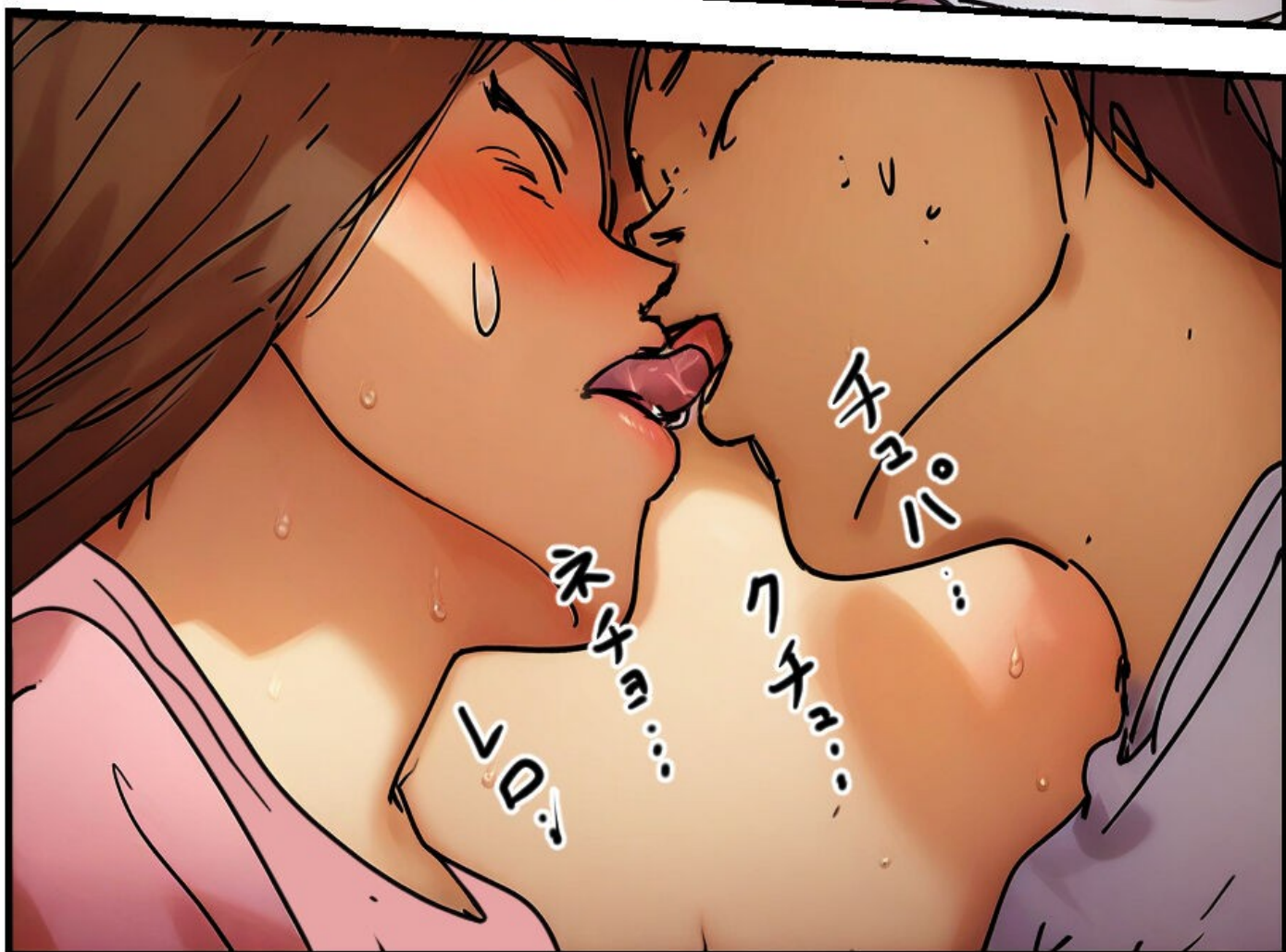
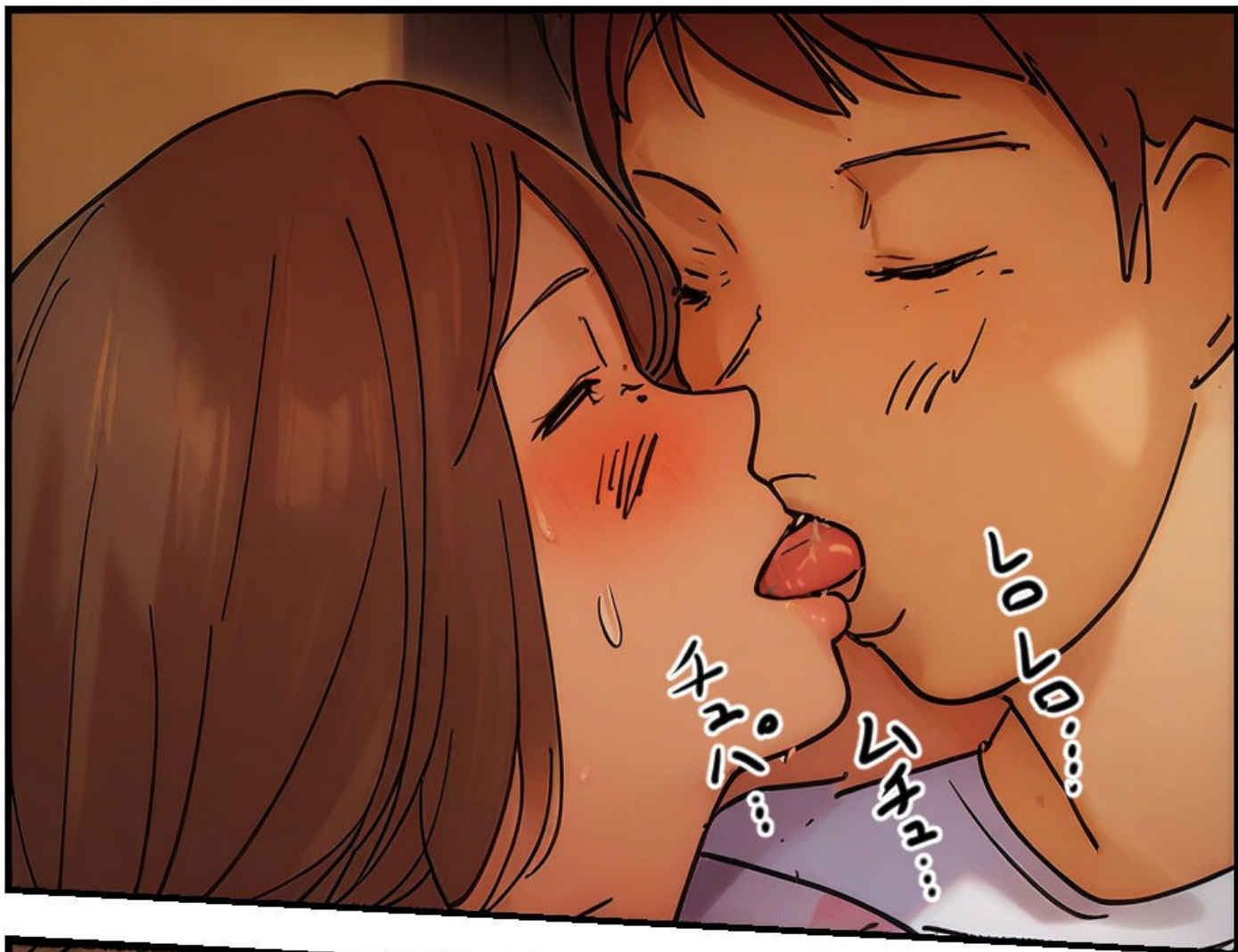


ん...あ...あ...んんん...

くっ...

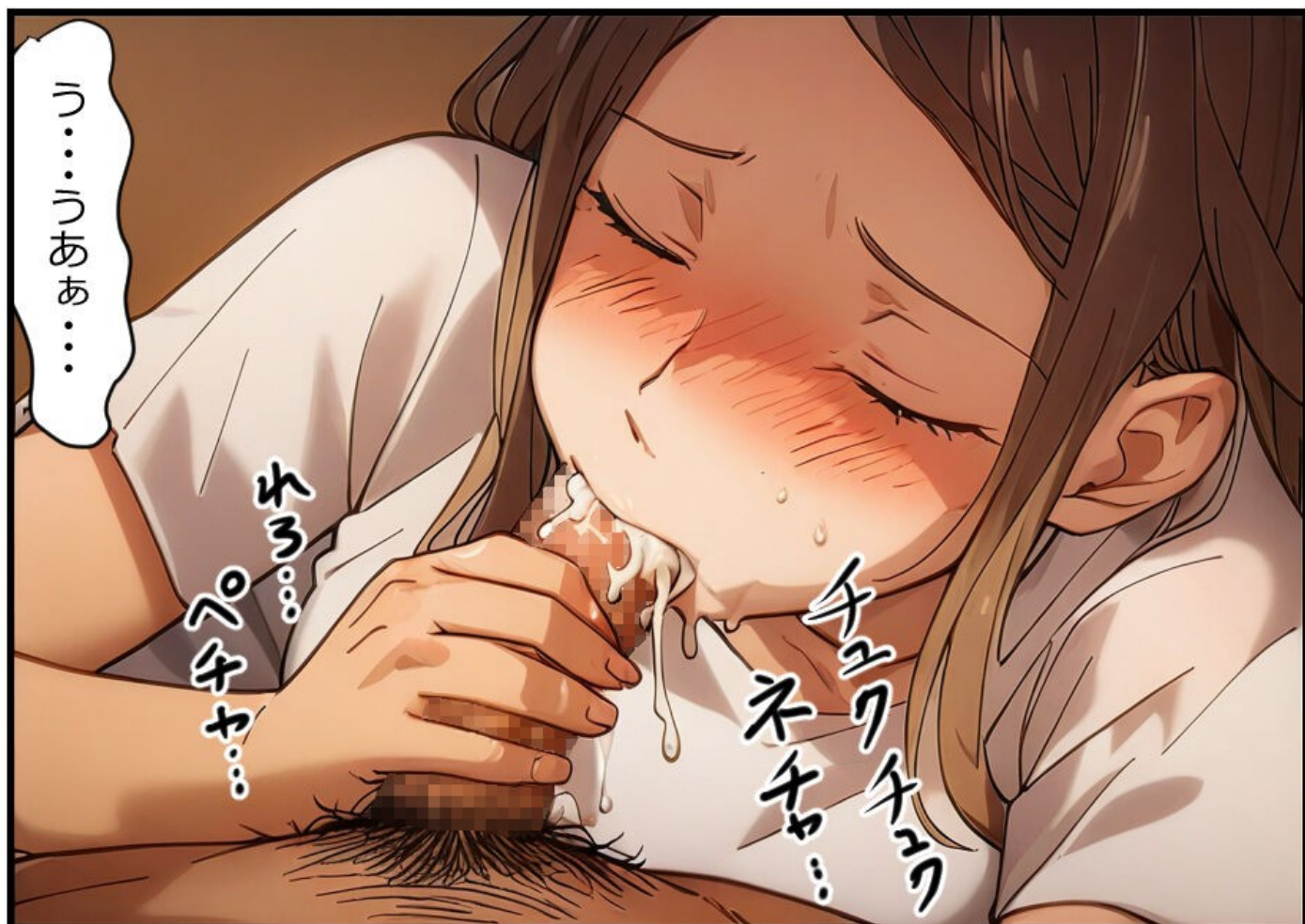
んんん...

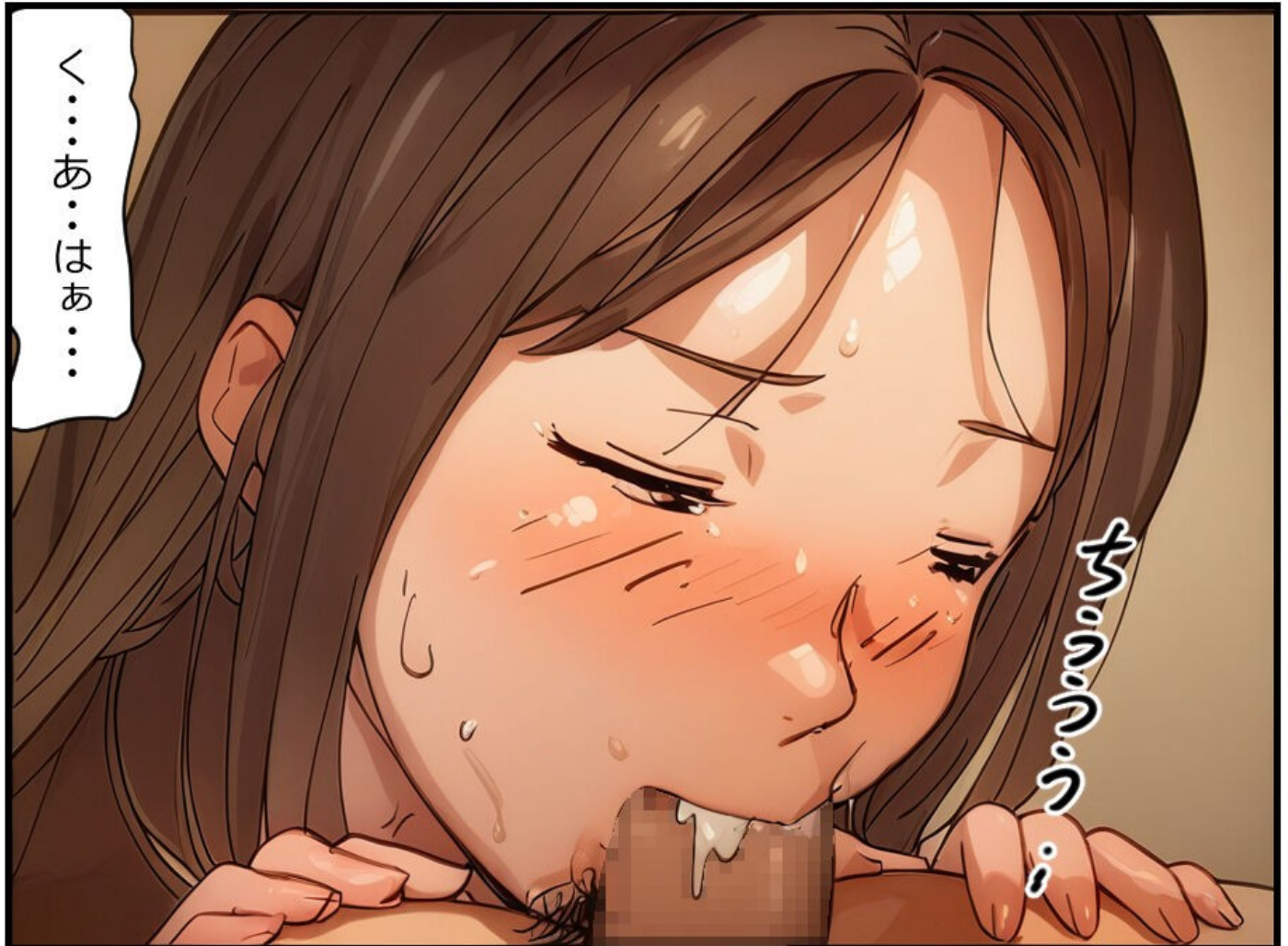
んんん...





そう言いながらも
母さんは僕の頼みに
応じてくれました。





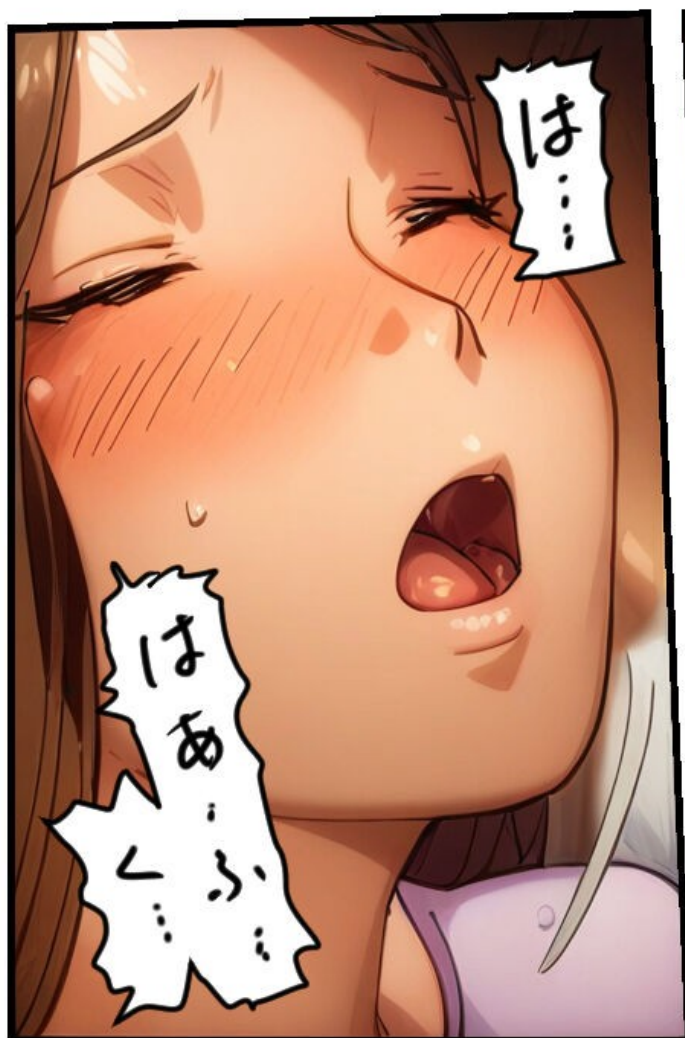
そしてついに母さんの
おまんこへ
生挿入に成功！
(童貞も喪失！)

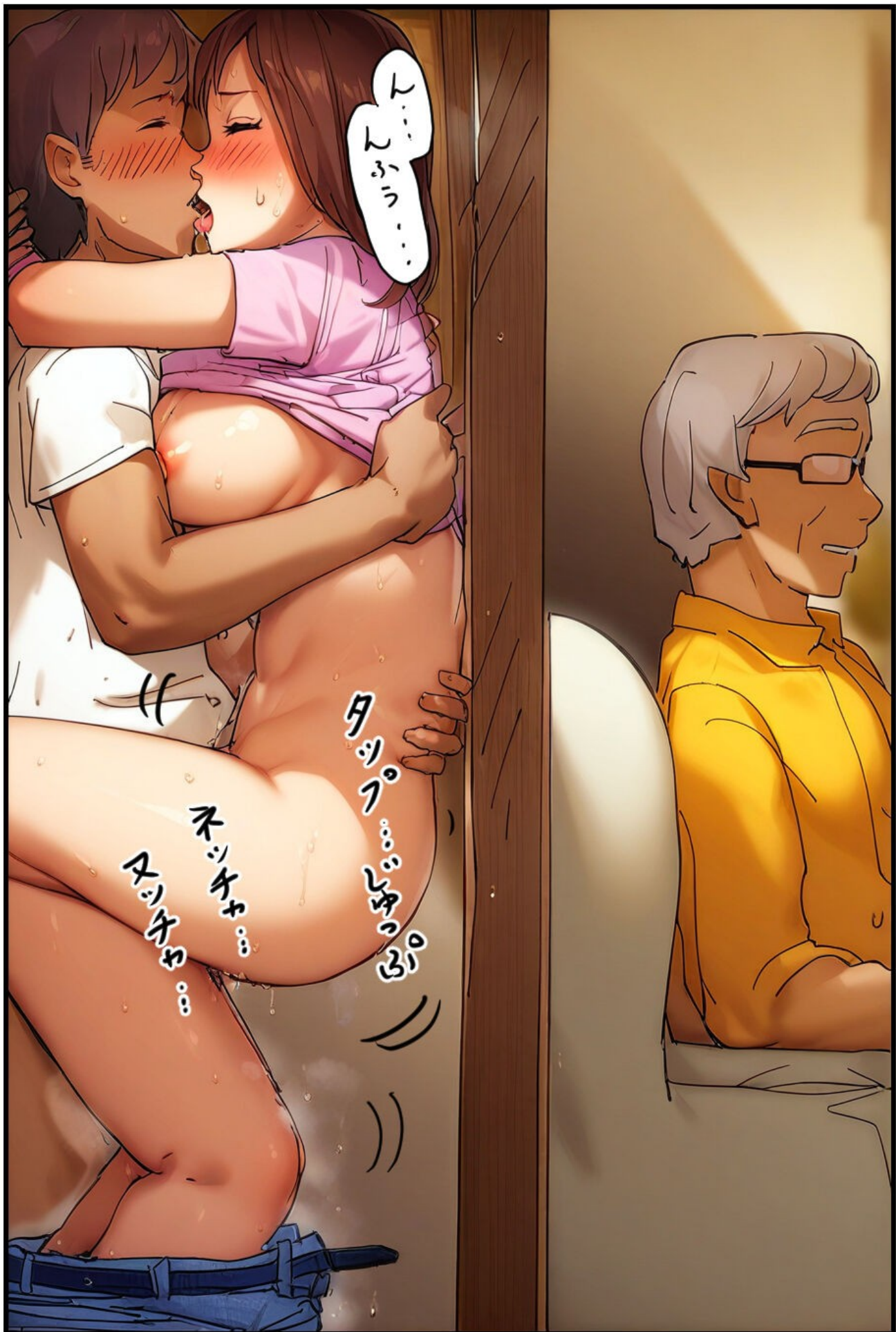


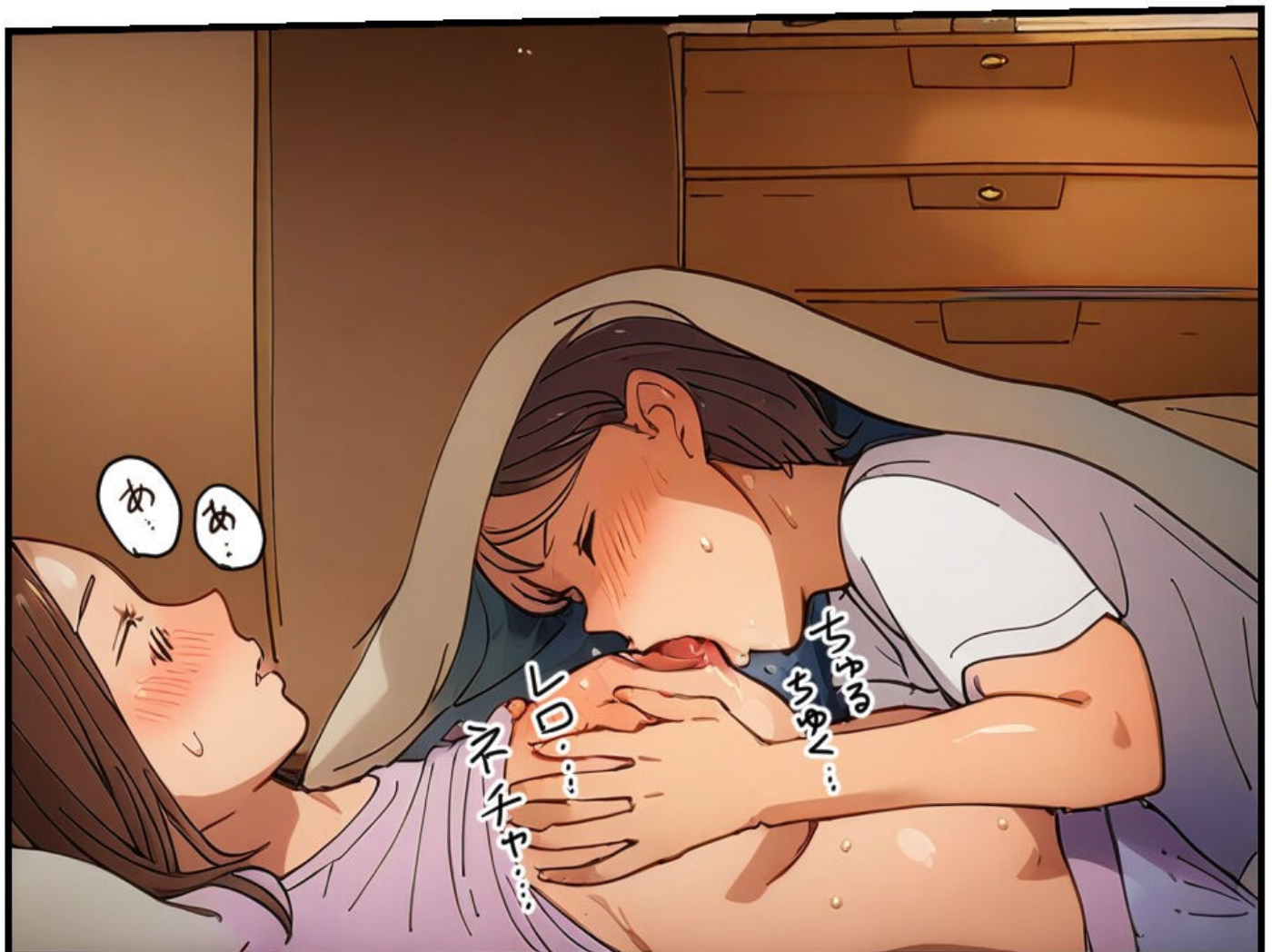
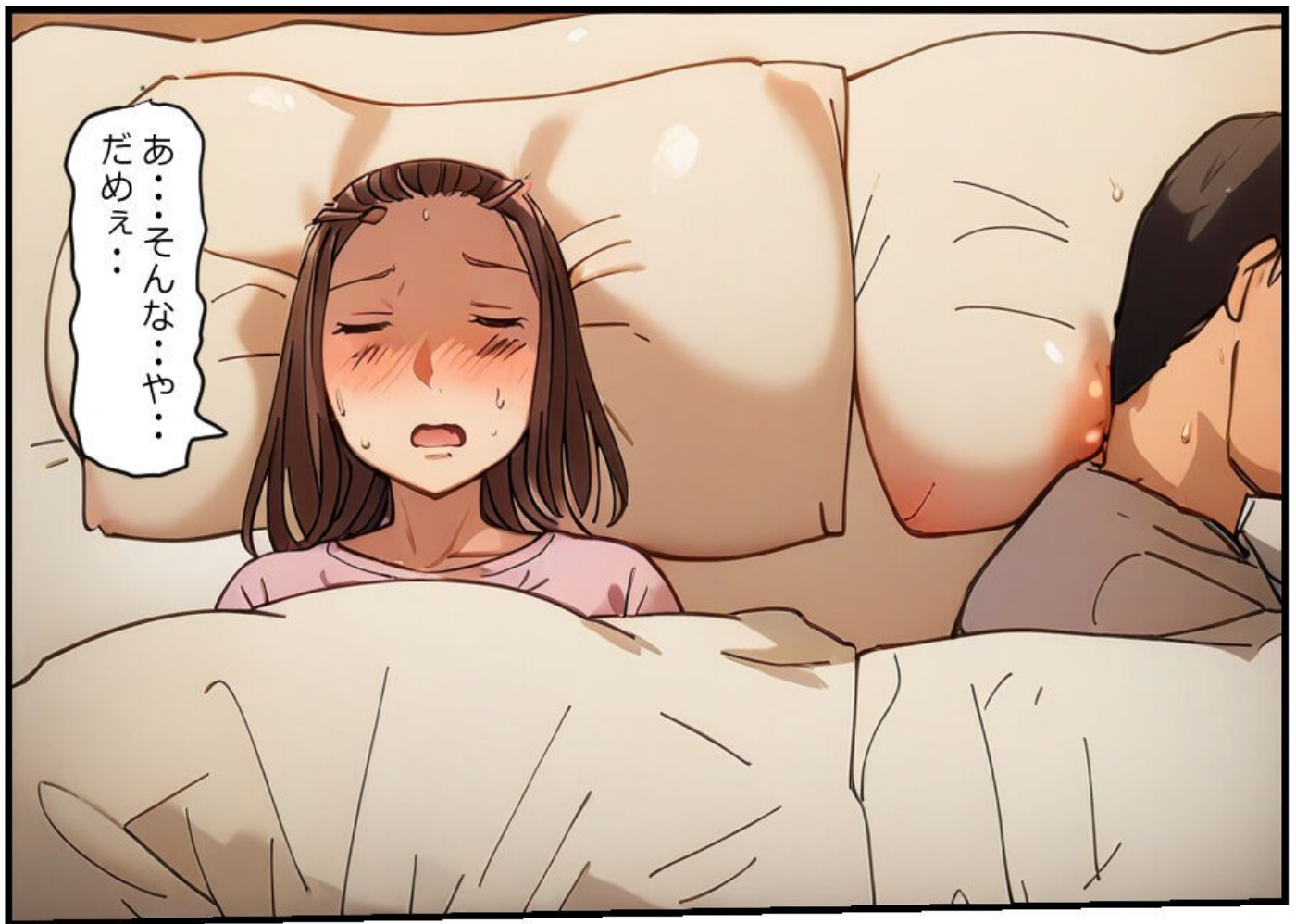
中出しもしちゃいました。

あめめめめめ…











こうして、母さんの膣はもうずっと
僕の精子を吸い取り続けている。
そろそろ妊娠してもおかしくないだろう。

でも、気持ちよすぎて
やめることはできそうもない。

